

日本の創生は、

島根の地方創生から。

自民政政策集

島根県版



自由民主党



自由民主党

自民党島根県連

〒690-0873

島根県松江市内中原町140-2

自由民主党島根県支部連合会

☎0852-21-2813

☎0852-22-7577

ホームページ:<http://www.jimin-shimane.jp>

子育て・ 教育の充実

(1) 子育て環境の充実

●子育て世帯の経済負担の軽減に努めます

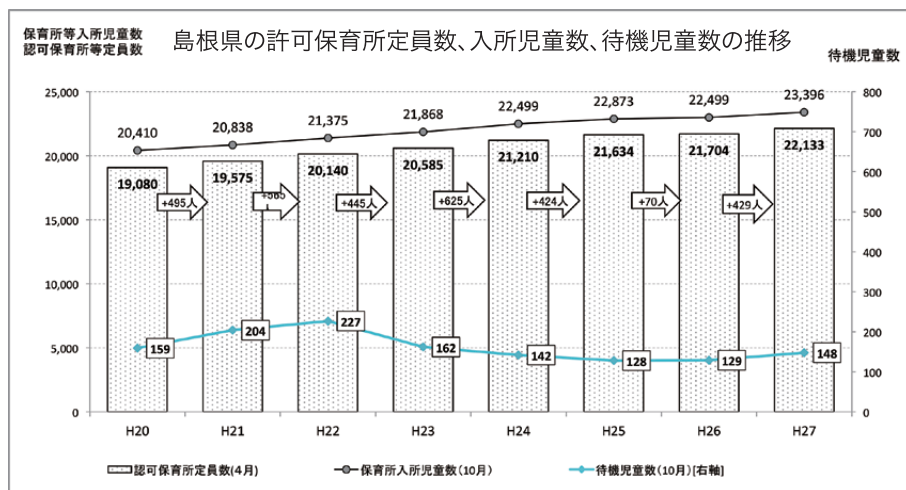
保育料の軽減措置や乳幼児等の医療費助成など、子育て世帯などの経済的負担を軽減するための取組を進めます。

●安心して子育てできる環境を整備します

待機児童の解消や放課後児童クラブの充実、病児保育事業の拡大など、安心して子供を産み、育てることができる環境の整備を進めます。

●地域ぐるみの子育てを支援します

行政、企業、ボランティアなど、子育てを社会全体で応援する地域づくりを進めます。



(2) 教育の充実

●子供読書活動を推進し、子供の思考力育成を図ります

学校司書配置を促進し、「人のいる学校図書館」の環境を整えるとともに、未就学児から絵本の読み聞かせや親子読書などに取り組むことで、読書習慣の定着を進めます。

●次世代の地域を担う人材を育成します

ふるさとに愛着と誇りを持ち、次世代の地域を担う子供の育成に向け、自然、歴史、文化、伝統行事、産業など地域の教育資源を活用した「ふるさと教育」を推進します。

●地域の産業を支える人材を育成します

職業、勤労に関する意識や、県内企業への関心や理解を高めるとともに、教育機関と地元企業等とが連携した取組で、地域の産業を支える人材を育成します。

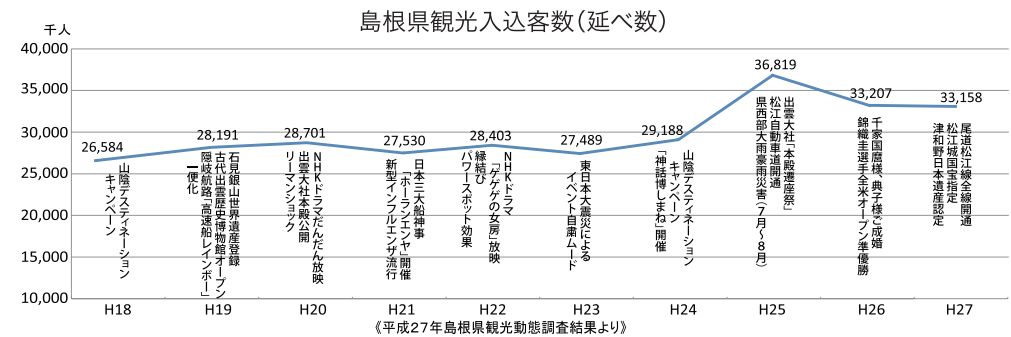
●スポーツ振興の取組を推進します

県民に夢と希望を与え、県民の健康増進や地域に活力をもたらすスポーツの普及・振興を推進します。



石見智翠館高校女子ラグビー部
(全国高校選抜
女子セブンスラグビーフットボール大会優勝)

働く場所の確保



(1) 強い農林水産業づくり

- 売れる農林水産品づくり、戦略的な販売展開など販路拡大を推進します

国内外の競争激化に対応し、TPP関連対策の方向も踏まえながら、消費者に好まれる米づくり、有機農業など高品質で付加価値が高い農林水産品・加工品づくりや県産品の販路拡大に取り組みます。

- 意欲ある担い手の育成確保に取り組みます

地域の安定した雇用の場や就業機会の創出につながる中核的な経営体の育成や、集落営農やその法人化を一層推進するとともに、新規就業者支援など意欲ある担い手の育成・確保を推進します。

(2) 競争力のある商工業の振興

- 企業の競争力強化を図り、若者にとって魅力ある雇用の場を創出します

特殊鋼関連産業、鋳物産業、食品産業など産業集積のポテンシャルを活かした競争力強化の取組や、「Ruby」を中心としたソフトウェア系のIT産業の振興、IT企業の県内集積を一層推進します。

- 中小企業・小規模企業の経営基盤の強化に取り組みます

安定した雇用の場の維持・確保のためにも、県経済と雇用の中心となる担い手である県内中小企業・小規模企業の経営革新や経営基盤の強化、円滑な事業承継の取組を支援します。

(3) 観光の振興

- 「神々」や「ご縁」などの島根ならではの地域資源を活用し、観光客の誘客を促進します

国宝の出雲大社・松江城、世界遺産の石見銀山、隠岐世界ジオパーク、日本遺産の津和野・たたら製鉄の遺構、石見神楽などの伝統芸能など、「本物」を感じられる島根の魅力を全国に発信し、観光誘客の取組を推進します。

- 外国人観光客誘客の取組を強化します

近年、訪日外国人が大幅に増加している中で、訴求力の高いプロモーションや情報発信を推進するとともに、受入環境整備を強化し、外国人観光客の誘客を促進します。

(4) 中山間地域・離島の振興

- IT企業の立地を中山間地域・離島にも進めます

IT企業は物流など地理的制約が少なく、中山間地域・離島に集積を広げるため、IT個人事業主の開業への支援に取り組みます。

- 地域資源を活かした6次産業や小さな起業を推進します

地域資源や人材を活かした小規模でも多様な事業展開で仕事の創出と収益を確保できる6次産業の取組や、集落営農法人等による「小さな起業」を推進します。

- 離島航路の確保、運賃低廉化に取り組みます

長年の取組であった「特定国境離島保全・振興特別措置法」を実現したことから、隠岐航路の運賃低廉化などに適切な措置が講じられるよう取り組みます。

医療・介護・福祉 の充実

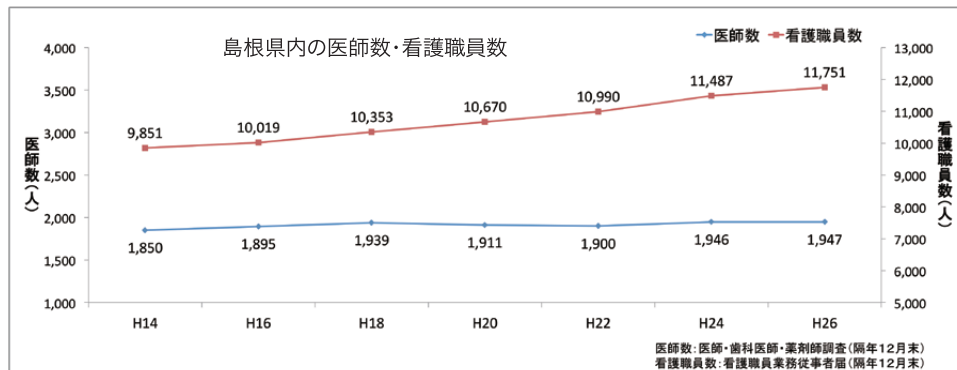
(1) 地域医療の確保

- 県内医療機関相互の機能分担と連携により、医療機能を確保します
県内各地域で適切な医療が提供できるよう、医療資源を可能な限り効率的・効果的に活用するため、医療機関の機能分担と全県医療情報ネットワークの整備などによる連携の強化を進めるとともに、ドクターヘリの運航など救急医療体制の整備や医療機関の機能充実、在宅医療を推進します。

- 医療従事者の養成・確保に努めます
圏域の医療を支えている地域の中核的な病院においてさえ医師不足が顕在化しており、大学やしまね地域医療支援センターと連携し医師不足の解消に努めるとともに、看護師など医療従事者の確保に取り組みます。



しまね地域医療支援センター



(2) 高齢者福祉の推進

- 高齢者が住み慣れた地域で生活を送ることができる地域づくりを進めます
医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが、切れ目なく、一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築に向けて取り組みます。
- 介護人材の確保のための支援策を推進します
介護職場は賃金や労働環境など解決すべき課題も多く、介護サービスの質の確保・向上を図るためにも、介護従事者が仕事にやりがいと誇りを持ち続けられるよう、働きやすい環境整備を推進します。

(3) 障害者の自立支援

- 障害を理由とする差別を解消し、共に支え合い生活していく環境づくりを推進します
障害や障害者への理解を深め、障害を理由とした不当な差別的取扱いを行わないことや合理的配慮を行うことなどにより差別を解消し、皆が共に支え合う地域社会づくりに取り組みます。
- 障害者に対する支援を推進します
障害者が自らの望む地域生活を営むことができるよう、住まいの場の確保や就労支援の充実に取り組みます。

交通ネットワークの整備

(1) 山陰道全線のネットワークの早期完成を目指します

産業振興などにより雇用を確保し、島根の地方創生を実現するためには、事故・災害時の代替道路としての機能も併せ持つ高速道路のミッシングリンクの早期解消は必要不可欠です。早期の全線ネットワーク化を目指します。

(2) 産業振興の基盤である航空路線の確保や港湾整備を進めます

地域産業の振興、観光産業の活性化に向けて、県内3空港と大都市圏を結ぶ航空路線の維持・確保や物流拠点となる港湾整備を進めます。



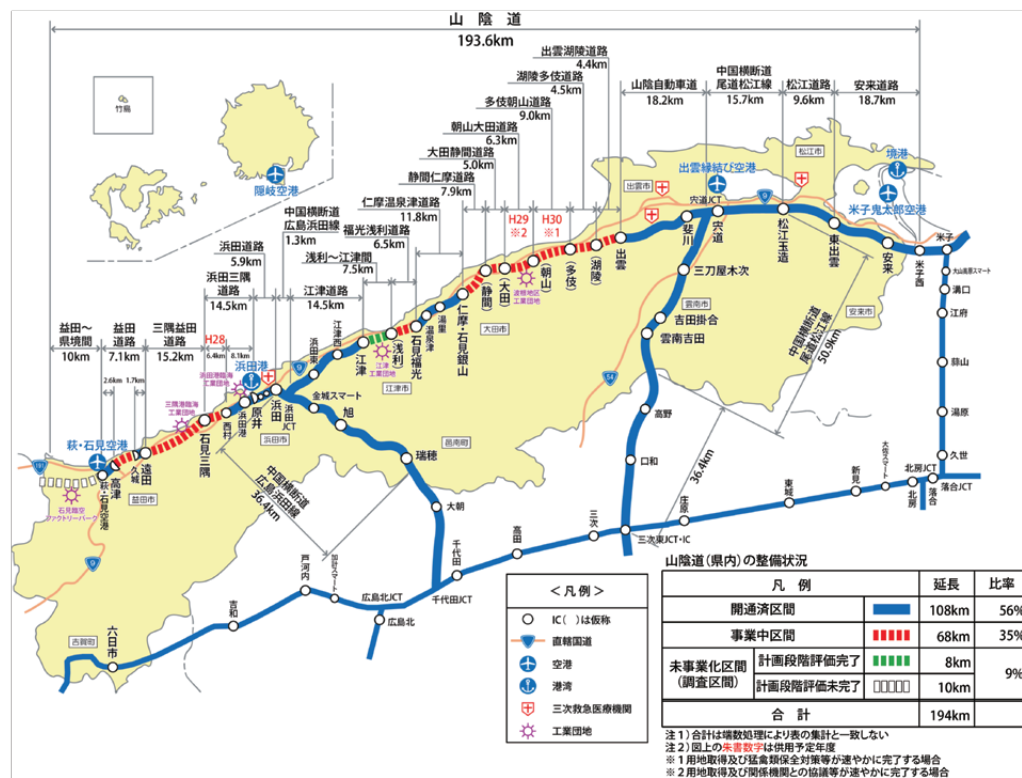
山陰道浜田港インターチェンジ



浜田港

(3) 地域公共交通網の確保

高速道路へのアクセス道路をはじめ、生活道路や地元住民の足となる鉄道、バスなどの交通網確保を図ります。



島根県内の高速道路の整備状況

島根を守る

(1) 住民の安全・安心を守る県土づくり

災害に強い県土を作るため、河川改修やダム等の治山・治水対策を着実に進めます。

大橋川改修、中海護岸堤防整備を促進し、早期完成を目指します。

(2) 自然環境の保護

ラムサール条約湿地である宍道湖・中海、隠岐ユネスコ世界ジオパークや中山間地域の棚田景観など豊かな自然や文化・歴史に親しみ、理解を深めながら、次世代への継承と、魅力ある地域づくりのために持続可能な活用を推進します。



国賀海岸(隠岐ユネスコ世界ジオパーク)

(3) 有人国境離島地域の保全等

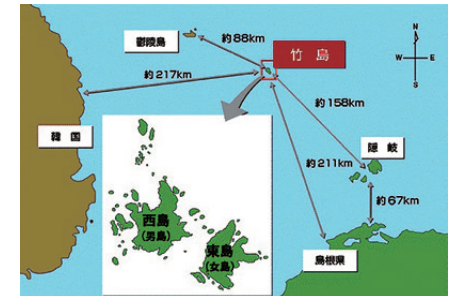
有人国境離島地域が有する我が国の領海、排他的経済水域等の保全等に関する活動の拠点としての機能を維持するため、「特定国境離島保全・振興特別措置法」に基づき隠岐諸島の保全及び地域社会の維持に関する特別の措置を講じていきます。

(4) 竹島領土権の確立

平成17年3月、島根県議会は竹島の領土権確立に向け、国内世論の啓発を願い「竹島の日を定める条例」を可決し、2月22日を「竹島の日」と定め、島根県とともに行動を実践してきました。歴史的事実に照らしても、かつ国際法上も日本の領土である竹島について、政府の外交努力によって、領土権の早期確立が図られるよう、引き続き強く対応を求めています。



島根県が建てた標柱(昭和28年)島根県竹島資料室所蔵



「島根県竹島資料室」より

(5) 参議院選挙制度改革

創設時から地域代表的性格を有し、都道府県単位の代表が地方の意見を国政に反映させる場として機能していた参議院において、投票価値の平等を重視する観点から「合区」という手法が採用されましたが、これは緊急避難的に設けられたものにすぎず、公職選挙法附則では、平成31年に行われる参議院議員選挙に向けて、選挙制度を抜本的に見直すことが示されています。平成31年の参議院議員選挙からは、各都道府県代表が選挙区で選ばれるよう、憲法改正を含めた改革の実行を求めています。